

ウルトラマン 資料館の建設を



答 財政状況から建設は厳しい

問 ウルトラマン資料館建設の基本構想まで行ったが、実現しなかった経緯がある。資料館建設の要望があり、複合施設として建設できないか問う。

副町長 町の財政状況から建設は難しい。

町長 ウルトラマンに関しては、南風原町の貴重な財産なので、観光の発展、町政発展に役立てる事を考えて、将来的にウルトラマンの里を宣言して行きたいと思っている。

問 かすり会館、商工会館は耐震基準に適用しているか問う。

副町長 耐震基準は昭和56年

6月に新耐震基準に改正し、かすり会館は昭和45年建設で旧耐震基準である。

産業振興課長 耐震診断を実施する義務対象施設ではないため実施していない。平成25年に一括交付金を活用して改修工事、修繕が必要な箇所に給排水工事、花ブロック工事は補修している。建物の状況を見ながら調査、確認を実施していく。

問 旧社協の敷地の有効活用の計画を問う。

副町長 跡地の有効活用に向けて、施設整備検討委員会において協議する。



知念 富信 議員



開通していない町道113号線

町道113号線の
早期開通を

問 町道113号線の袋小路

解消として工事を進められた重要な道路で早期開通が望まれる。地権者との協議事項を問う。

副町長 用地交渉を重ねてきたが、土地買収の提示価格と地権者の意向に開きがあり同意に至っていない。

照屋地区区画整理事業を問う

問 組合設立は進んでいるか。開発事業者の着手時期はどうなっているか問う。

副町長 沖縄県と都市計画変更に向けて協議を進めていて、令和8年7月に組合設立、事業認可を目指している。事業着手時期は地権者との交渉等で未定である。

問 土地所有者の開発承認に合意は得られているか。

副町長 土地区画整理事業に向けた仮同意は、9割程度の同意がある。